

## 病院内外でのリハビリ室の活動を紹介します！

今年度は、カーさ・あもーれが開設され、入所・通所の利用者さまにもリハビリを実施するようになり、新たな活動が広がりました。  
 実は、私たちリハビリスタッフは病院外でも活動をしており、その活動は多岐にわたります。私たちが、どこでどんな活動をしているか、紹介します！！

### 院内・関連施設での活動



#### 一般科病棟・精神科病棟

急性期病棟やリハビリ病棟・緩和ケア病棟・地域包括ケア病棟、精神科病棟にて、心身機能の維持・向上を目的に介入しています。  
 また、透析中の腎臓リハビリや外来心臓リハビリ、糖尿病の教育入院などでもリハビリを行っています。



#### みあ・カーさ、カーさ・あもーれ

入所・通所・ショートステイの施設利用者さまに対し、リハビリを実施しています。病院でのリハビリよりも、さらに生活に即したリハビリを提供することで在宅生活への復帰・継続を支援します。



#### ひまわり訪問看護ステーション

利用者さまの自宅へ訪問し、生活上の問題点などにアプローチしていきます。利用者さま・家族さまの生活を知り、より良い社会生活が送れるよう支援しています。

急性期・回復期・生活期、それぞれの患者さま・利用者さまに合ったリハビリを提供しています。

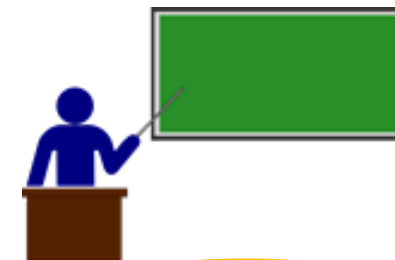
### 病院外での活動

#### 学校講師活動

介護福祉士の養成校で「リハビリテーション論」の講師をしています。講義では、リハビリの概念や障害の捉え方、疾患別のリハビリの話や起居・移乗動作の介助指導などを教えています。疾患別のリハビリでは、特徴的な障害と、その障害に対するリハビリや介助方法をお伝えしています。介助指導では、利用者さまと介助者がともに負担にならないような方法を指導し、実習や臨床につなげていけるように考えています。また障害体験を通し、体の状態や気持ちを理解して頂く取り組みも行っています。

ケアの中にリハビリを取り入れる時に、私たちが伝えた内容が少しでも手助けになっていれば嬉しく思います。リハビリや介助のことでお困りの際は、リハビリ職種にご相談下さい。

PT2名が講師活動をしています！！



#### 運動器機能予備調査

運動器機能予備調査を聞いたことはありますか？

現代の子どもの新たな健康課題として「片脚立ちができない、しゃがみ込みができない」等、運動不足による運動器機能不全や運動のしすぎによるスポーツ障害が増加傾向にあります。運動器の健康状態の把握や運動器疾患・障害を早期に発見するため、H30年4月から、より精度の高い運動器検診の実施をめざし、PTが学校医に代わり実施することになりました。H30年4月～6月の間に堺市の小・中学校120校を周り、延べ12572名の児童に対して実施しました。実感として、しゃがみ込みのできない児童や、側弯の所見がある児童などを早い段階から見つけることができたと思います。学校医、地域の医師へ繋げることが出来る点でも良い事業であると思います。



PT2名が実働し、来年度から増える予定です。

PT2名が活動に参加しています。

#### 肺年齢測定

堺市では、誰もが健やかでいきいき暮らしていただくことが出来るよう、『堺市健康増進計画ー健康さかい21(第2次)ー』を策定し、取り組みを推進しています。その取り組みの一環として、肺年齢測定の実施によるCOPDの啓蒙活動を実施しています。

堺市からの依頼により、イベントなどでPTが肺年齢測定を実施します。事前問診票や測定結果での今の呼吸状態をお伝えするとともに、呼吸器疾患に対して禁煙の重要性を説明させて頂いています。

「COPDってなに?」「名前は聞いたことあるけど…」といった声をよく耳にします。まだまだCOPDの認知度は低いと実感します。肺年齢測定をきっかけに、少しでもCOPDや禁煙について認識し、地域の方々が健康に過ごして頂けたらと思います。



～ 活動風景 ～